

救命講習開催の変更について

7月から一般公募救命講習の開催方法が変わります。

3時間の普通救命講習の受講は、時間的に余裕がなく受講できない方のために、90分間の「救命入門コース」を新設します。これは、基本的な心肺蘇生法及びAEDの使用方法に重点をおいた講習会になります。

また、これまでどおり3時間の「普通救命講習」も実施し、ご要望により講習時間内に「小児・乳幼児」に対する内容も実施ができます。

なお、概ね5名以上のグループであれば、年間スケジュール以外の日程でも随時講習会を受け付けています。消防署にご相談して頂ければ対応しますので、ご連絡ください。

さらに、大磯町災害救護赤十字奉仕団により、「救急法救急員養成講習会」「幼児安全法支援員養成講習会」が開催されます。詳しくは大磯町災害救護赤十字奉仕団までお問い合わせください。

町では、救急に関する講習会を下記のとおり年間を通して開催しています。開催月の広報をご覧ください。お申し込みください。いざという時のために、受講してはいたががですか。

3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	月
普通救命講習	救命入門コース	普通救命講習	救命入門コース	普通救命講習	幼児安全法支援員養成講習会 (災害救護赤十字奉仕団)	救命入門コース	普通救命講習	救命入門コース	救急法救急員養成講習会 (災害救護赤十字奉仕団)	講習会年間スケジュール

問 消防署 ☎(61)0911  
大磯町災害救護赤十字奉仕団  
☎090-9151-9241(森田)

熱中症は予防が大事!

熱中症は、炎天下の屋外だけでなく、室内が高温多湿になると、体から熱が逃げにくいため、発症する場合があります。注意が必要です。

また高齢者や子ども、障がい児は特に注意が必要です。

熱中症の症状

めまい、体がだるい、吐き気、ズキンズキンとする頭痛、意識障害など

予防のポイント

「水分補給」と「室温管理」  
■寝る前だからと水分を我慢せず、こまめな水分補給を心掛けましょう。汗をかいた時は、適度な塩分補給も必要です。

■暑さを感じなくても、部屋の見やすい場所に温度計を置き、温度が上がったらエアコンをつけるなど、常に注意しましょう。

熱中症が起こりやすい条件

■暑さに慣れていない夏の初め、水分不足・下痢・二日酔いなどによる体調不良など

■高温多湿、無風、日差しが強いときなど

■炎天下の屋外、自動車のなか、風呂場、換気の悪い室内など

熱中症かな?と思ったら

- ① 涼しい場所に移動する。
- ② からだを冷やす。
- ③ 水分を補給する。
- ④ 自分で水が飲めない、脱力感

や倦怠感が強く動けない場合、  
⑤意識がない(いつもと違う)、  
全身のけいれんがある場合。  
この様な時は救急車を呼んでください。

熱中症を予防し、楽しい夏をすごしましょう。

問 消防署 ☎(61)0911



二輪車交通事故防止運動 暴走族追放運動 実施中

6月1日から30日まで二輪車交通事故防止運動、暴走族追放運動が行われます。

二輪車は手軽な移動手段ですが、わずかな油断が生命にかかわる大事故につながりかねません。「運転に ゆとりやさしさ

思いやり」を念頭に置き、無謀な運転は止めましょう。  
・活動しやすく、肌を露出しない

い目立つ服装を心がけましょう。  
・灯火類・ブレーキ・タイヤの点検を行います。

・自動車に比べ車両が小さく、他のドライバーから発見が遅れたり、車両の死角に入り込みやすいので注意しましょう。

暴走行為は、騒音や交通妨害となるだけでなく、交通事故の誘発や傷害事件への発展など危

険をとまなう深刻な迷惑行為です。

「暴走を しない・させない・ゆるさない」を台言葉に、警察だけでなく、地域・家庭・学校・職場などが一体となって暴走行為を許さない環境づくりに取り組みましょう。

問 町民課 ☎内線267